

ことばのかべを無くす

実施団体：特定非営利活動法人地域診療情報連携協議会

市担当課：文化国際課

協働に対する認識

(協働による事業実施について理解が深まったか、今後も協働による取り組みを行いたいかな)

	内容
団体	前橋市の市民としても住みやすい街になることが希望でもあるため今後も新しいサービスの提供も含めて協働していく。
市 (文化国際課)	事業実施にあたり、今回のようにお互い信頼関係を構築したうえで、協働事業を行うことができれば、市単独より効率的・効果的な事業を実施することができる。と考える。

「子ども服リユース」で取り組むSDGs「貧困・ジェンダー・つかう責任」

実施団体：特定非営利活動法人Mam's Style

市担当課：政策推進課

協働に対する認識

(協働による事業実施について理解が深まったか、今後も協働による取り組みを行いたいかな)

	内容
団体	事業の終始に渡って事業協力を得てはいなかったが、必要に応じて事業の方向性を互いに確認し、前進してきた。単独組織ではできない協働を前橋市、JINSPARK、日吉児童館で得られていた。多くのご協力と理解があつて活動することができ、それにより多くの方に提供できると感じている。
市 (政策推進課)	母親の孤独・孤立の解消や共生社会の実現は市としても取組まなくてはいけない課題であるが、今回のように日頃から活動している団体と共同で実施することで、行政ではアプローチできない市民、企業、団体とも交流することができ、今後の活動に繋がる部分もあったと感じている。

まえばしSDGsワークショップ&カフェ

実施団体：特定非営利活動法人ソソリッサ

市担当課：政策推進課

協働に対する認識

(協働による事業実施について理解が深まったか、今後も協働による取り組みを行いたい
か)

	内容
団体	協働の取り組みへの理解は十分にできた。また今後も協働の手法については積極的に行っていきたい。
市 (政策推進課)	協働で実施することで、今までアプローチできなかった企業・団体・市民と関わり、SDGsについて考え、自分ごと化してもらい機会を創出できたことは意義を感じた。SDGsは世界共通の目標であることから、引き続き、NPO法人や民間企業との繋がりを大切に、活動していくことが2030年の目標達成に向けて大事なことであると考える。